

詩編 126:5~6 ヨハネによる福音書 21:1~14

今、私は第三の人生を歩もうとしています。第一の人生は、38年間の仕事生活、第二は東京神学大学での学びの日々でした。このような日々を過ごし、今新たな生活に進みます。

本日、「棕櫚の主日」。イエス様の十字架への歩みが始まる日です。そして、今日のみ言葉は「その後、イエスはティベリアス湖畔で、また弟子たちに御自身を現された」という言葉から始まります。この「その後」とは、イエス様が復活後、弟子たちに「わたしもあなたがたを遣わす」と告げ、「主と共に」いた弟子たちは、イエス様のもとから派遣された、その後の事です。

今、ペトロと弟子たちは、ティベリアス湖のそばにいます。彼らは、様々な苦難を受けたのでしょうか。エルサレムから、イエス様との出会った湖へと生活に移しています。そして、生活のために魚を捕ろうと、闇夜に船を出します。イエス様がいなかったためなのでしょうか、何も捕ることができません。

新しい朝が始まります。その時、イエス様は「すでに」、弟子たちのそばにいました。しかし、まだ彼らは気が付かない。けれども、誰だかわからない人の「舟の右側に網を打ちなさい」という言葉に。弟子たちは従います。すると、イエス様の力なのか、魚が捕れます。でも、まだイエス様のことを忘れたのか、気が付かないのです。同じように、私たちもあまりに苦しい時、「神様はいないのか」等とったり、イエス様のことを忘れてしまうかもしれません。

そして、その時一人の弟子が「主だ」と告げます。この声を聞いた瞬間、ペトロは上着をまとって、湖に飛び込みます。会いたかったからか、それとも信仰の表われなのでしょう。そして、その後、ペトロは再び舟に戻り網を上げます。網はたくさんの魚のために破れそうです。しかし、破れなかった。まるでイエス様によって守られたように。イエス様は「さあ、来て、朝の食事をしなさい」と言います。その後、弟子たちは、再び遣わされます。そして、今、彼らは、私たちは、イエス様がどのような時でも共にいてくださることを知っているのです。

棕櫚の主日、イエス様が私たちのために苦難を歩まれた日々を、そして私たちの罪が赦されたことを伝えるために。私たちにイエス様は語ります。「共に歩もう」と。だから、今日も、イエス様の恵みを豊かに頂いた私たちは、教会から各々の場所へ遣わされます。

この言葉と共に。「わたしの愛する兄弟たち、こういうわけですから、動かされないようにしっかり立ち、主の業に常に励みなさい。主に結ばれているならば、自分たちの苦勞が決して無駄にならないことを、あなたがたは、知っているはずですよ。」(コリントの信徒への手紙一 15章 58節)

・年度の最後の日に、そして棕櫚の主日に説教をさせていただきます感謝です。教会の皆様が主共に歩めますように。そして日々守られますように。眞田正美・千夏

【今週の集会】

◎聖書研究・祈祷会 I. 4月 7日 (水) 20:00
II. 4月 8日 (木) 10:30

聖書: エゼキエル書
祈祷主題: 壮年会を覚えて
担当者: (水) 藤林 (木) 木川
祈る人: 相浦さん 青島さん

【教勢報告】

主日礼拝 男 23 女 51 計 74
祈祷会 I. 休 会
祈祷会 II. 男 3 女 8 計 11
日曜学校 休 校
ハンナの会 男 4 女 7 計 11

【次週礼拝】

4月 11日 (日)
聖書: イザヤ書 57:20~58:2
ヨハネの黙示録 17:9~18
説教: 「黙示録-52 — 黙示録の悪魔論」
武田真治 牧師

讃美歌: 327、32、419、503、83

【次週当番表】

司式: 相浦長老 奏楽: 岩井 礼拝: 齋藤長老
献金: 三箇 鄭 受付: 飯田 吉岡
会堂準備: 飯島、岡本、金刺、中村
新元

看板: 飯田 週報: 金刺 お花: 金刺

【次週集会予定】 礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後: ・壮年会 ・婦人会 ・幼稚園理事會

週報

2020年度 教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

2021年 4月 4日

日本キリスト教団 上尾合同教会
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>